■基礎配置図 D1 D2 ■姿図 ■基礎断面図 3 土間コンクリート考慮基礎の場合 —— 約2° □125 □125 b(d) b (d) b (d) 独立基礎の場合

変更記事

■基礎寸法表

三生元 7/40							
BB Contin	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎		
		地耐力[kN/㎡]			地耐力[kN/㎡]		
間口呼称		30	50	100	30	50	100
		a · b	a·b	a·b	a · b	a · b	a·b
30	55	620	430	380	620	430	380
30	60	640	450	300	640	450	
48	55	770	600	400	770	530	400
40	60	810	630	420	810	560	420
55	55	820	650	430	820	300	430
	60	850	670	450	850	590	450
60	55	860	690	1 400	860	590	430
00	60	900	710	470	900	620	470

- 設置する柱側の間口呼称、奥行呼称を参照してください。 ・HS500の場合、独立基礎は150、土間コンクリート考慮基礎は50足した寸法にしてください。 ・シーボートPFC の場合、独立基礎は250、土間コンクリート考慮基礎は10足した寸法にしてください。

	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			
間口呼称		地耐力[kN/m ²]			地耐力[kN/m ²]			
		30	50	100	30	50	100	
		c · d	c · d	c · d	c · d	c · d	c · d	
48+30	55	960	790	510	960	660	440	
	60	1000	820	540	1000	690	460	
55+30	55			530				
	60	1040	850	560	1040	720	480	
60+30	55	1030	000	550	1030	710	470	
	60	1080	880	580	1080	750	490	

- H3500の場合、独立基礎は200、土間コンクリート考慮基礎は50足した寸法にしてください。 ・ジーポートPro Gの場合、独立基礎は350、土間コンクリート考慮基礎は250足した寸法にしてください。

■間ロ-奥行-高さ寸法表

間口呼称	奥行呼称	D	D1	D2	L	L1	L2	L3
48+30	55	7904	4737	2937	5450	923	1800	927
	60	/304			5960	977	2000	983
55+30	55	8504	5337		5450	923	1800	927
	60				5960	977	2000	983
60+30	55	9104	5937		5450	923	1800	927
	60				5960	977	2000	983

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	Н	H1	H2	H3
48+30	55	24	2355	2671	2475	2852
40+30	60			2669	2488	2868
55+30	55			2671	2475	2852
33730	60			2669	2488	2868
60+30	55			2671	2475	2852
00+30	60			2669	2488	2868

[・]H=2500 (H=3000) <H=3500>の場合、H1、H2、H3に145 (645) <1145>足した寸法にしてください。

■主要部材材質一覧

主要部材	材質	表面処理	D:間口
①柱	アルミニウム合金 押出刑	楊極酸化塗装複合被	D1:柱芯々(間口方向) 膜 D2:柱芯々(間口方向)
②梁	アルミニウム合金 押出刑	楊極酸化塗装複合被	膜 L: 奥行 L1: 柱芯~屋根端部(水下側)
③鼻隠し(側面)	アルミニウム合金 押出刑	楊極酸化塗装複合被	膜 L2:柱芯々(奥行方向)
④鼻隠し(水上側)	アルミニウム合金 押出刑		: 同で (U.L~米ド(小下側//
⑤鼻隠し(水下側)	アルミニウム合金 押出刑	楊極酸化塗装複合被	膜 H1: G.L~屋根上端(水下側) H2: G.L~梁下(水上側)

- 接 H1: 6. L~歴報と確係下例) H2: 6. L~歴報と準備(水上側) H3: 6. L~歴報と準(水上側) a: 基礎 (間口方向) b: 基礎 (奥行方向) c: 基礎 (関口方向) d: 基礎 (奥行方向)

設計監理 照 査 担 当 作 図 尺 度 御承認印 図面内容 カーポート ジーポートPro/Pro G 3000タイプ 通し図番 3台用 間口連結 柱9本仕様 納まり図